



第 29 回
ユーザーの意見を聴く懇談会

— まとめ —

一般社団法人

長野県自動車販売店協会

目 次

I	まえがき	1 ページ
II	開催概要	2 ページ
III	懇談会テーマ	3 ページ
IV	主催者あいさつ	3 ページ
V	意見交換	4 ページ
VI	ユーザーアンケート	20 ページ
VII	付則資料	25 ページ

I まえがき

長野県自動車販売店協会は、昭和31年3月、県内で国産車を販売する15社のディーラーが集まり、経営やサービスの改善を図ることを目的に設立しましたが、当時の県下自動車保有台数は、僅か2万2千余台でありました。現在では、自動車メーカー12系列のディーラー28社が加盟し、約400の店舗と約6千名の従業員により、登録車と軽自動車の販売・車両整備をさせていただいております。

車社会の進展に伴い、環境保全・交通事故防止対策が深刻な社会問題となり国民の関心が高まる中、これらの課題に積極的に取り組みながら、少しでも地域社会に貢献したいとの願いを込め、平成3年6月、長野県知事認可による「社団法人長野県自動車店協会」を設立。平成23年4月に「一般社団法人長野県自動車販売店協会」へと移行し、自動車の販売事業と併行し、“地球環境の保全”と“交通安全活動”を二本柱に据え、公益事業活動を積極的に展開しております。

さて、「ユーザーの意見を聴く懇談会」は、交通安全・環境保全問題並びに行政機関・自動車販売業界に対する要望・意見を直接自動車ユーザーの皆様から聴かせていただく懇談会として平成4年から実施しており、今回で29回目を数えることになりました。今回は、「若者の車離れ」と言われる中、信州大学・長野県立大学・清泉女学院大学及び短期大学・長野自動車大学校・松本情報工科専門学校の皆さんにご参加いただき、車に対する関心、安全運転支援機能やエコカーに関する考えなどについて意見をいただく機会として開催いたしました。

今回、皆様方からいただきましたご意見・ご要望を冊子に編集いたしましたので、会員や関係団体、行政機関等に広く周知して、より良い車社会の実現を図るため活用させていただきます。

終わりに、ご参加いただきました皆様と懇談会にご協力いただきました皆様に対し、心から感謝と御礼を申し上げます。

Ⅱ 開催概要

- 1 日 時 令和6年11月11日(月)
懇談会 15:15～16:45
夕食会 17:00～18:30
- 2 会 場 ホテルメトロポリタン長野 3階「浅間」
長野市南石堂町1346
- 3 出席者 47名(詳細は付則資料に掲載)

(1) ユーザー代表

信州大学・大学院生	5名
長野県立大学	4名
清泉女学院大学・短期大学	5名
長野自動車大学校	5名
松本情報工科専門学校	2名

(2) オブザーバー 1名 信州大学工学部 准教授 高山 潤也 様

(3) 協会役員 12名

(4) 協会会員 6名

(5) 司会進行 1名 SBC 信越放送アナウンサー 中澤 佳子 様

(6) 記者 1名 (株)日刊自動車新聞社 秋山 淳 様

(7) 協会職員 5名



Ⅲ 懇談会テーマ

- 将来、自分で自由に使える車を所有したいか。
- 車を持つとすれば、どのような点に関心を持って選ぶか。
(環境に配慮した自動車、安全運転支援機能など)
- 魅力あるディーラーとは、どのようなディーラーか。

Ⅳ 主催者あいさつ

ただいまご紹介に預かりました、長野県自動車販売店協会理事長の宇都宮でございます。

本日お集まりいただいている学生の皆さんには、当懇談会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

また、お忙しい中、信州大学の高山准教授にもご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

そして、SBC信越放送の中澤佳子アナウンサーには、毎回お世話になっておりますが、今回もよろしく願いいたします。

さて、私どもの協会は、県下の自動車ディーラー28社で構成され、交通安全や環境問題などの公益事業を主体とし、より安全で快適な車社会となるよう活動しております。

本日の懇談会も、皆さんから自動車に関連する様々なご意見やご要望をお聞きし、今後の活動に活かそうとするものです。

現在、自動車業界は、100年に一度と言われる大変革期にあります。

販売する車も、IoTの発達により、渋滞や事故の情報をリアルタイムで感知して回避できたり、運転支援技術の進化により、高速道路ではクルーズコントロールによる自動走行や前車追従走行が可能な車も増えています。

車の利用形態も、一般的な購入・所有して使用する形態の他に、サブスクリプションやシェアリングという形もでてきています。

またライドシェアの導入やデマンド交通など、地域のモビリティにも変化が見られますし、CO₂の削減に向け電動化も進められています。

本日は、若い皆さんから自動車やディーラーに関連する様々なご意見をいただき、今後のモビリティ社会について考えていきたいと思っております。

短い時間ではありますが、肩の力を抜き、ぎっくばらんに皆さんと語り合えることを期待いたしまして、開催の挨拶といたします。



V 意見交換

◀ 表示上の説明 ▶

- 信州大学工学部・大学院を「信州大学」、清泉女学院大学・短期大学を「清泉大学」、長野県立大学を「県立大学」、長野自動車大学校を「自動車大」、松本情報工科専門学校を「松本情報工科」とし、個人名はアルファベットによる表記とする。
- 信州大学（5名）は、A～Eで表わす。
- 長野県立大学（4名）は、F～Iで表わす。
- 清泉女学院大学（5名）は、J～Nで表わす。
- 長野自動車大学校（5名）は、O～Sで表わす。
- 松本情報工科専門学校（2名）は、T～Uで表わす。
- 司 会： **緑字**
 男子学生： **青字**（高山准教授を含む）
 女子学生： **赤字**
 協会役員： **黒字** で表わす。

発言者	発 言 内 容
司会	<p>それでは、さっそく意見交換に入りたいと思います。</p> <p>本日は、自動車に関するテーマで自由に討論していただきますが、事前に皆さんに簡単なアンケート（注1）を実施させていただきましたので、それに基づき意見を伺っていきます。</p>

注1：アンケート結果はP20以降に掲載しています。



車が好きですか。

司会	<p>まず、今回出席されているユーザーの皆さん、「車が好き」とお答えいただいている方が多くいらっしゃいますが、去年の今日、車購入の契約をしたFさん。</p> <p>車はもともと興味があったり、お好きだったのですか。</p>
県立大学F君	<p>はい。ただ、興味を持った一番のきっかけは、免許を取った後に車の魅力にハマったというところがすごくあります。</p>
司会	<p>どんなところに「車っていいな」と感じたのでしょうか。</p>
県立大学F君	<p>一概には言い表せられないのですが、走る時の気持ち良さとか。あと、もともと自転車などが趣味で、そういうものを積んで遠くへ行く際にも活躍してくれるということもあり、好きになりました。</p>
司会	<p>車は自分で買ったのですか。</p>
県立大学F君	<p>はい、自分で買いました。</p>
司会	<p>お金を貯めてでも自分の車が欲しかったのですか。</p>

県立大学F君	<p>そうですね。</p> <p>憧れていた車があって、あと、スキーに行く時に四駆の車が欲しかったということもあり、今の車を購入しました。</p>
司会	<p>今、実際にその車に乗っていて、買ってよかったと思いますか。</p>
県立大学F君	<p>はい、間違いなく。後悔は全くないです。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、女性の方で、Jさんも車が好きだということですが、それはなぜでしょうか。</p>
清泉大学Jさん	<p>父も母も車が好きで、兄も車が好きで自動車の整備士をしています。私が車を好きになったきっかけとして、「頭文字（イニシャル）D」という漫画を読んだのが大きなきっかけです。</p>
司会	<p>その漫画を読んで、「かっこいいな」と思ったところから、「自分の車を持ちたい」と思うようになったのでしょうか。</p>
清泉大学Jさん	<p>はい、そうです。</p>
司会	<p>自分の車を持って、自分で運転してどんな気持ちですか。</p>
清泉大学Jさん	<p>自分で運転する時は気をつけなければいけないことがたくさんあって、自分で運転するというよりは、誰かと一緒にドライブに行ったりするほうが好きだなと思います。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>この4月から自動車ディーラーで働くという方が何人かいらっしゃいましたが、Kさん、なぜディーラーを就職活動の中で選んだのでしょうか。</p>
清泉大学Kさん	<p>実は、私は車にあまり詳しいわけではなくて、車が大好きというわけでもないのですが、県内の就職を目指していたので、「長野県で一番役に立つこと、県内の人の役に立てる仕事をしたい」と考えた時に、長野県は車が必須だなと思い、自動車ディーラーに就職したいと思いました。</p>
司会	<p>自分で車は運転しますか。</p>
清泉大学Kさん	<p>はい、運転します。</p>
司会	<p>それほど車に詳しくないとはいえ、どんな車に魅力を感じ、こういう車だったらいいなというのはありますか。</p>
清泉大学Kさん	<p>安全な車が一番かなと思います。</p>
司会	<p>安全というと、危ない時に自動で止まったりということですか。</p>
清泉大学Kさん	<p>そうですね、長野県は高齢の方も多くいらっしゃるのので、高齢の方が運転する際や、事故になってしまった際に自動で止まったり、ぶつかってしまったとしても被害の少ないような車が一番かなと思います。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>この中で、自分で車を持っているという方、手を挙げていただけますか。</p> <p style="text-align: right;">— 挙手 13 名 —</p> <p>では、持っていないという方。</p> <p style="text-align: right;">— 挙手 8 名 —</p>



自分で自由に使える車を持ちたいと思いますか。

司会	それでは、Oさん、いずれは自分の車を持ちたいですか。
自動車大O君	そうですね、これから就職して通勤するとなると徒歩は不便なので、車は欲しいなと思っています。
司会	ありがとうございます。 この中でまだ車を持っていない方で、今、車の持ち方はいろいろあると思いますが、自分の車を持つということもあれば、カーシェアという考え方も随分定着してきましたが、そういう持ち方をしてみようかなと考えている方いらっしゃいますか。 Lさんお願いします。
清泉大学Lさん	やはり維持費が掛かるのと、家に駐車できる場所が2台分しかなく、既に親の車で埋まっているので、私は毎日車を使うわけではないので、カーシェアでも十分かなと思っています。
司会	実際にカーシェアで車を借りたことはありますか。
清泉大学Lさん	借りたことはありません。カーシェアは都会でしか利用されていないというイメージがあり、長野県はほとんどの方が車を持っているので、カーシェアというサービスに関してはあまり身近な存在には感じていません。 もっと長野県内でもそのようなサービスが展開されていけば良いなと思いました。
司会	どんなカーシェアだったら使いやすいですか。
清泉大学Lさん	例えば、遊びに行く時は友達を連れて行きたいので、大型の車があったり、一人で出かけるときは軽自動車のような小さい車にしたりと、いろいろな車種が選べたら良いなと思います。
司会	その時々にあわせて様々な車種を選べたらとても便利ですね。 他にもお話してくださる方いますか。 Aさんお願いします。
信州大学A君	私の経験の話になりますが、いま持っている車が軽自動車で、軽自動車のサイズ感だと引っ越しの際などに家具を運搬するには少しサイズが小さいということで、レンタカーを利用したことがあります。 よって、大きめの車を利用する際はレンタカーを活用すれば良いのではないかなと思います。
司会	なるほど。 引っ越し以外にもレンタカーは利用したことはありますか。
信州大学A君	はい、自分の車を所有する前に自身の運転がとても不安だったので、レンタカーを何日か借りて運転の練習をしたことがあります。
司会	ありがとうございます。 その他に皆さんの中でレンタカーやカーシェアを利用したことがあるという方はいらっしゃいますか。 では、Nさんお願いします。

清泉大学Nさん	旅行に行った際にレンタカーを何度か利用したことがあります。つい最近、佐渡島に行った際にもレンタカーを借りたのですが、観光地となると空きがなかったり、大型の車しか空いていなかったりして、やはり長野県も観光地なので、レンタカーの台数を増やしたり、カーシェアが利用できる場所が増えれば良いなと感じました。
司会	使いたい時に空いてないのは悲しいですね。
清泉大学Nさん	そうですね、少人数で大型の車を借りるとなると値段もそれなりにかかるので、全体的に車の台数や料金がもう少し改善されれば良いなと思います。
司会	ありがとうございます。 もうお一方、Gさん、お話しいただけますか。
県立大学G君	自分はレンタカーとカーシェアどちらも利用したことがありますが、カーシェアが8割くらいの利用で、利用時間が24時間以内の時はカーシェアリングを使って、長距離あるいは24時間以上借りるときはレンタカーを利用するというように使い分けています。
司会	今の若い世代の人には、カーシェアというのは当たり前のようになっているのでしょうか。
県立大学G君	そうだと思います。 私の通っている大学ですと、今は利用が止まってしまっているのですが、トヨタカーシェアさんが学校に車を1台置いてくださっていて、学園祭の買い出しに使ったり、いろいろな使い方をしていました。
司会	学校に学生さんが利用できる車が置いてあるのですか。では、皆さん当たり前のように利用しているのですね。
県立大学G君	そうですね、車を運転できる、あるいはドライブが好きな人は、自分で車を持つほどではないけど、だからこそカーシェアリングがちょうど良いという人が多いと思います。
司会	そこから自分の車が欲しいなという人もいますか。
県立大学G君	はい、実際にそこから車を買った友達もいます。
司会	ありがとうございます。 他にも、県立大学さんのように学校でカーシェアが利用できるという学校はありますか。 ちなみに高山先生、信州大学さんにはありますか。
高山准教授	残念ながら、信大にはありません。
司会	でもきっとあったらとても便利で良いですね。 高山先生からして、カーシェアは若い人たちにとってどうなのでしょう。
高山准教授	車に何を求めているかにもよると思いますが、ちょっと買い物に行きたい、ちょっと出かけた、要するに足として使うには非常に有効な手段だと思うので、若い方々が使われるというのは納得です。 ただ、私の話をしても仕方ないのですが、車を所有すること、あるいは自分で手を加えられること、そういったことを考えると、そこには

	<p>そぐわないというのもあるので、ここは車に対する考え方次第だと思います。</p> <p>学生時代はカーシェアを大いに利用させていただいて、社会人になったらそこを足掛かりに自分の車を持つというように発展していくと、楽しい車生活が送れるんじゃないかと思います。</p>
司会	まずそこが入口でということですね
高山准教授	<p>そうですね、ですのでディーラーさんもそういうところを汲み取ってくださると良いのかなと思います。カーシェアがディーラーさんに置かれているところもあると思いますが、そういうところを窓口にして、今度は新車を買ってもらえるような流れにしていくと繋がりができて良いのではないかと思います。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>車の使い方、乗り方という話が高山先生からありましたが、車に何を求めるかというところを聞いてみたいと思いますが、Bさんは車を持っていらっしゃるんですよね。</p> <p>車に何を求めますか。</p>
信州大学B君	僕の場合は、1番に車内の広さ、2番目は、山へ行ったりすることが好きなので走破性能が良い車、あと3番目はやはり値段ですね。
司会	値段はどれくらいが良いですか。
信州大学B君	SUVだと300万~500万円ほどしますが、現実的に400万円に近づくほど支払いが難しくなるので、300万円前半くらいで買えるようなSUVがあれば良いなと思います。
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>Cさんは車に何を求めますか。</p>
信州大学C君	今、学生の立場として、どの学生もそうだと思いますが、お金をすごく気にするというのがありますので、特に長野県はガソリンが高いので、燃費が良い車はとても魅力的だなと感じています。
司会	燃費があまり良くない車だと、乗りたいという気持ちは薄れてしまいませんか。
信州大学C君	そうですね、友人と「燃費どれくらい？」という話もしますが、お金に余裕があるならば、燃費がより良い車を買いたいという発想にはなると思います。
司会	<p>そんな中で、燃費があまり良くない車に乗っているとおっしゃっていたTさん。</p> <p>車に何を求めますか。</p>
松本情報工科大 T君	<p>楽しい走りができれば。</p> <p>加速だったり、コーナリングとか良ければ楽しいと思います。</p>
司会	車を単なる移動手段として考えていないということでしょうか。それはなぜでしょう。
松本情報工科大 T君	自分が操作していて、一体感のようなものを感じられたら車に乗ることが楽しくなると思います。

<p>司会</p>	<p>これからも多少燃費が悪くなってしまっても、車にはそういう楽しさを求めていきたいということですね。</p> <p>その他に、「車にこんなことを求めている」という話をしてくださる方いますか。</p> <p>Pさんお願いします。</p>
<p>自動車大P君</p>	<p>私が車に求めるものは、「便利な足」という部分です。</p> <p>例えば、先ほどのカーシェアは、車を使う予定を立ててから予約をして実際に車を使用するまでにタイムラグが発生してしまいます。そうすると、先ほどお話があったように、自分の使いたいタイミングで使えないということもあるので、私は所有をしてでも便利な足というものを車には求めたいと思っています。</p>
<p>司会</p>	<p>自分の車で、使いたい時にすぐ使える方が良いということですね。</p> <p>他に、Qさんどうでしょうか。</p>
<p>自動車大Q君</p>	<p>今の時代は安全性能だったり燃費を重視されていると思いますが、昔は「楽しみに行くための車」というよりかは、「楽しみながら走れる車」というのが多かったと思います。</p> <p>カーシェアの話を聞いたりすると、燃費が良くてコンパクトな車が多いので、スポーツカーやキャンプなどのアウトドア向けの車が増えていけば、車に興味を持つ人も増えると思いますし、自動車業界も盛り上がるのかなと思います。</p>
<p>司会</p>	<p>なるほど、いろいろな車種があれば良いですね。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>次に、Gさんお願いします。</p>
<p>県立大学G君</p>	<p>私が大事にする点は、「車を利用するまでの流れがいかにか簡単か」という点です。</p> <p>今の時代、車離れが進んでいると思いますが、移動手段として車があると便利な機会というのは必ずあって、そういう時にカーシェアを選ぶ理由としては、事前に登録をして予約さえ空いていれば、料金の中にガソリン代も含まれていたりするので、考えることが少なくて使いやすいというのがあります。</p> <p>ただ、実際に車を買うということになった際に、私個人としてはコストの種類が多いのが面倒で、車そのものもそうですし、保険料もどんな保険があるのか、駐車場代はどうするかなど、考える項目が多くなってくると「もう車はいいや」となってしまうようで、もっと分かりやすいサブスク体系だとか、新しい仕組みが出てくれば、もうちょっと車を知っていこうという人は増えるのではないかと思います。</p>
<p>司会</p>	<p>手続きやら何かしなければならぬことが多いと、公共交通機関を使えばいいかと思ってしまうところはありますよね。</p> <p>では、Dさんは車にどんなことを求めますか。</p>
<p>信州大学D君</p>	<p>私の場合は、「安全性」かなと考えています。私自身、車は持っていないのですが、岐阜の実家に帰った時に、就職した後にも車が必要に</p>

	<p>なっていると思うので、車の運転練習をすることがよくあります。その際に、音が鳴って知らせてくれる機能やバックガイドモニターなどがついていると気楽に運転ができるので、将来的に必ず車が必要になる立場の人間としては、安全性能がついた車が何よりも重要ではないかと考えています。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>高山先生、今は車もいろいろ進化していて、安全性の部分というのは随分研究されていると思いますが、デザインの部分ですとか、その辺のバランスというのはどうなのでしょう。</p>
高山准教授	<p>安全性とデザイン。なかなか難しい対比だと思いますが、安全性というのは日々進化していて、私の認識ではここ10年ちょっとで飛躍的に向上したと思っています。</p> <p>先ほど車に何を求めるかという話をした時に、安全性や燃費、そういうところに最新性を求める方はカーシェアを利用するというのも一つの手だと思います。一方で、車が好き、所有したい、あるいはいつでも使いたいという方は、自分の車を持つことが一つの手だと思います。</p> <p>先ほど、カーシェアにいろいろな車種があると良いという話がありましたが、そのためだけにサービスを展開するのはコスト面で見合わないと思うのです。そう考えると、ディーラーの方々がたくさんいらっしゃるところでこういうお願いをするのは恐縮なんですけど、例えば、普段お店に止まっている車をもっと有効活用できないかなど、それがさらに新車販売につながるような展開がカーシェアと組んでできれば若者にアピールできるのではないかなと思います。</p> <p>そしてデザインの話ですが、今、コンピューターのCAD（コンピューターを使って設計図や図面を作成する技術）などの技術がだいぶ進歩したので、昔は作れなかったような形が簡単に作れるようになってきました。故に、すごくカッコいい車が増えてきたと思います。そういう点でも最新のカッコいい車に乗りたい人はカーシェアを使うと良いのかなど。ただ、それをインフラとしてどう整備していくかということが今の課題ですから、うまいことバランスをとって運営できたら良いなと思います。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>Hさん、今の先生の話聞いてどうですか。カーシェアの話でもいいですし、「こんな車に乗ってみたい、こういうふうに車がなればいいな」と思うことがあればお願いします。</p>
県立大学Hさん	<p>私は、車に求めるものとして、燃費や安全性よりかは「デザインのカッコよさ」であったり、スズキであれば「ラパン」がとても好きです。</p> <p>女性からすると、車はカッコいいものだから、とっつきにくいという印象があったのですが、ラパンはうさぎをモチーフにしている車で、運転が終わった後にうさぎが出てきて「おつかれさまでした」と言って</p>

	くれたりするところがとても可愛くて、乗っていて楽しいなと思うことが一番だと思うので、安全性はもちろん大事ですが、私は一番にデザインを重視しています。
司会	ありがとうございます。 では、女性からの観点ということで、Iさんはどう思いますか。
県立大学Iさん	私は車に、「運転のしやすさ」を求めたいです。 親の車を借りて運転することがあるのですが、両親どちらも違う車に乗っているので、その車ごとでペダルの重さだったり、ブレーキの利き方も全然違いますし、車の高さによって見やすさも違ったり、駐車がとても苦手なのですが、バックモニターがあるとすごく駐車がしやすいので、運転のしやすさというのを重視しています。
司会	Rさんはどうでしょうか。
自動車大R君	僕は車というよりは、バイクをメインに結構乗っているのですが、バイクで考えた時に一番重要だと思っているのが「デザイン」です。そのため、値段や燃費が悪くなってしまうのは仕方がないと思っています。
司会	ありがとうございます。 皆さんに実施したアンケートの中で、「環境問題」についてもお聞きしておりますが、その中で、ハイブリッド車や水素自動車について書いてくださっている方が多くいるのですが、Kさんお話しただけですか。



交通安全・環境保全について思うこと。

清泉大学Kさん	私は、水素自動車について、少し調べてからアンケートを書きましたが、すごく環境に良いというメリットもありますが、高校生の時に聞いた水素が持つ危険性の話が忘れられずにいます。 すでに車は動く鉄の塊という危険性を持っていて、さらにそこに別の危険なものをつけるというのはどうなのかなと思いました。
司会	高山先生、水素自動車というのはどう危険なのでしょう。
高山准教授	すみません、私もそれほど詳しいわけではないのですが、今おっしゃられたように、危険性は少なからずあります。それはガソリンも然りですね。非常に爆発性の高い、揮発性の高いものですから、爆発しやすいという危険性はあります。 ですが、車を開発される皆さんは重々承知の上で、安全性には抜かりのないように対策はしているので、通常の衝突事故程度であればそれほど爆発の危険というのは起きないようにはなっているはずですが、ただ、100%安全だとは言いきれないと思います。 あと、環境面で言えば、排気ガスを出さないとかそういった点ではメリットがあると思いますが、私の個人的な意見としては、全体で見てもあげないといけないと思うのです。水素を燃料で使うわけですが、その

	水素はどうやって作るのかというところも含めてトータルで見えないと誤った道に進んでしまう可能性もあって、私はその辺をよく気を付けた方が良くはないかと思っています。
司会	ありがとうございます。 その他、環境問題や電気自動車であったり水素自動車、またはハイブリッド車に対してこう思っているという方はいらっしゃいますか。 Bさんお願いします。
信州大学B君	アンケートにも書かせていただきましたが、水素自動車ですらトヨタ車の「MIRAI」が出たりしましたが、水素ステーションが少ないというのも問題に挙げられると思いますし、ハイブリッド車もたくさん出てきていると思いますが、ネットでいろいろ情報を調べてみると、駆動用バッテリーの交換時に高額な費用がかかってしまうと知りました。これが例えば、学生が中古でハイブリッド車を買ったときに万が一にも駆動用バッテリーの交換が必要になってしまった場合、交換費用が高いということを知らなかったら、「もう乗れない」ということになってしまうこともあると思うので、そういうところを世間にもっと周知していただきたいと思います。 「税金が安くなる」「免税されている」という部分で優遇はされていると思いますが、ガソリン車よりも優れているところだけを宣伝しているのを聞くと、ガソリン車より悪いところはもっと悪いのではないかと疑ってしまいます。
司会	Mさんどうでしょうか。
清泉大学Mさん	先ほどからいろいろな話を聞いていて、私には少し難しいなと思っていたのですが、でも環境に関しては考えることがたくさんあると思いますし、ガソリンにしても電気自動車にしても、それぞれのメリットとデメリットがあるんだなと思い、メリットだけを取った良い車ができたらいいなと思いました。
司会	本当ですね、ありがとうございます。 Sさんはどのように考えますか。
自動車大S君	今、電気自動車やハイブリッドが多く普及していると思いますが、全員が全員そういう車に乗れるわけではないので、基本的なところで、アクセルを踏みすぎないようにしたり、適度な速度を守るということをみんなが守れば、少しずつ環境問題も良くなっていくと思います。
司会	Uさんはどうでしょう。
松本情報工科大U君	電気自動車やハイブリッド車、水素自動車などありますが、やはりガソリン車ならではの良さもあるので、一概にはそちらが良いとは言えません。 整備も大変だったりするので、自分はガソリン車のほうが好きです。
司会	ありがとうございます。 ここまでいろいろなお話を伺ってまいりましたが、では、車を買おうとなった時に、一般的にはディーラーに行って選んで買うということ

	<p>になると思いますが、「こんなディーラーだったら入りやすいな」「ちょっと話を聞いてみたいな」ということをお話しいただける方。 Bさんお願いします。</p>
--	---



自動車業界に対して思うこと、ディーラーのイメージ。

信州大学B君	<p>来年から就職するのですが、就職と同時ぐらいに新車が欲しいなと思っていて、ディーラー巡りをしている最中なのですが「初めて買うからこそ失敗したくないし、だからといって無理もしたくないけど、自分の車が欲しい」となった時に最適な選択肢を提案してもらえるとありがたいなと思います。実際にディーラー巡りをした中で、「あれも良いですよ、これも良いですよ」と言われることが多く、オプション代だけで100万円もかかってしまうと「乗りたくても乗れないんだな」という感情が先に湧いてしまうので、そういうところの最適な判断をしていただけると嬉しいかなと思います。</p>
司会	<p>ありがとうございます。 次は、Fさんお願いします。</p>
県立大学F君	<p>僕は中古の車を買ったのですが、ディーラーというと「来店予約が必須」とか「そのお店で継続的に車を購入している人が行く」というイメージがすごく強くて、ちょっとした部品とかが壊れてしまって新しいのが欲しいなと思っても、気軽に寄ることができないなと個人的に感じているので、もっと気楽に来店できるようになれば、初めての人も利用しやすくして良いなと思いました。</p>
司会	<p>初めてだと「少し入りにくいな」と。</p>
県立大学F君	<p>そうですね、そのお店で買っていないという罪悪感もあったりして、車の点検をお願いしても良いのかなと思ってしまいます。</p>
司会	<p>ありがとうございます。 Jさんはいかがでしょう。</p>
清泉大学Jさん	<p>私も「ディーラーは用がないと行けない場所」という印象があって、カタログをもらうだけとか、買い物ついでに立ち寄れるような雰囲気だと良いなと思います。</p>
司会	<p>買い物ついでにということは、ショッピングセンターの横にあれば良いなという感じですか。</p>
清泉大学Jさん	<p>それもありますし、気軽に寄れるような雰囲気であればもっと気楽に立ち寄れるかなと思います。</p>
司会	<p>気軽に立ち寄れるには、どんな工夫がしてあると良いと思いますか。</p>
清泉大学Jさん	<p>人の印象が一番だと思うので、親しみやすい雰囲気のあるスタッフさんがいることが大切だと思います。</p>
司会	<p>ありがとうございます。 Hさんはどうでしょうか。</p>

<p>県立大学Hさん</p>	<p>私は、輸入車のディーラーさんに 5 日間インターンシップに行かせていただいたことがあるのですが、営業の人も整備士の人も皆さん温かい雰囲気を持っていて、お客様とお話ししている姿を見て、お客様も安心して帰られているなということがわかりました。</p> <p>「この車に乗ったらこんなことができる、楽しめる」というのをしっかりと伝えてくれる、優しく温かく接してくれるというのが、親しみやすいディーラーの姿であるのかなと感じました。</p>
<p>司会</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、将来の整備士の皆さんからはどんなお話が聞けるのか、まず Q さんにお聞きしたいのですが、どんなディーラーだと行きやすいですか。</p>
<p>自動車大Q君</p>	<p>整備工場にお客さんも来ていただけるようなシステム・流れがあれば、営業マン目線からと整備士目線からの意見を聞けるので良いのではないかと。車のデザインや良さを伝えるのは営業の方のほうが特化していると思いますが、整備士はここが壊れやすいというような話もできると思うので、フロントだけじゃなく、ディーラー全体でお客様をサポートしていけるようなシステムになれば良いと思います。</p>
<p>司会</p>	<p>なるほど。</p> <p>P さんはどう思いますか。</p>
<p>自動車大P君</p>	<p>整備している場面をお客様に見ていただくというのは、自分の車を預けているその実態を見ていただけるので、良い部分ではあるのかもしれないと思いつつ、道路から見えている部分と実際に車を見てもらっているお店・整備工場の雰囲気、これにギャップがあって、フロントと整備工場ではだいぶギャップの差があると思うので、お客様に良い印象として捉えられるかどうかは厳しいところがあると思います。皆さん、自分の車はなるべく綺麗なところで整備してもらいたいと考えていらっしゃると思います。</p>
<p>司会</p>	<p>でも、整備工場の方も見たいという方もいるかもしれないですね。そういう時に気軽に見に行けたら良いですね。</p>
<p>自動車大P君</p>	<p>はい、見たいという方は整備士としてはぜひ呼んでほしいですね。説明もしやすいですし、ユーザー様が普段から乗っている車なので、現物を見せたいという思いはあります。</p>
<p>司会</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>もう一人、I さんどうでしょうか。「こんなディーラーだったら遊びに行ってみたいな」というような。</p>
<p>清泉大学Lさん</p>	<p>例えば、お店に入りやすい雰囲気を作るために、お店の中がしっかり見えるようなショーウィンドーであるとか、キッズスペースがあることが分かればお子様連れでもすごく入りやすいと思います。</p>
<p>司会</p>	<p>特に小さいお子さんがいる方はそういう部分は気になりますよね。</p> <p>では、F さんお願いします。</p>
<p>県立大学F君</p>	<p>個人的な経験として、トヨタの「GR Garage」というところに行って</p>

	<p>みたくて、そこで行ったところが「トレッサ横浜」というところです。そこはショッピングモールなのですが、中にディーラーがお店を構えており、車もそこで展示されています。いろいろなレースで戦ってきた車なども展示されているので、大人から子供まで楽しめるような雰囲気があり、買い物に来たついでに気軽に立ち寄ることもできて、すごく印象的でした。</p>
司会	<p>ありがとうございます。 ショッピングモールの中に車が展示されているのはすごいですね。次は、Gさんお願いします。</p>
県立大学G君	<p>私は先ほどから車にあまり興味がない側の立場をとって話しているのですが、ディーラーというと「入りづらくて、大通りに面していて、四角い建物でガラス張りで、一度入ったら車を買わないといけないんじゃないか、少し怖いな」という印象が強いのですが、車が好きな方、自分の父親も車が大好きな人間ですが、そういう方はディーラーに行きたがる気がします。けれど、興味のない側の方はディーラーだと思っただけで行きづらいというのがある気がするので、ディーラーっぽくないディーラーを作っていただけたら良いなと思っています。</p> <p>最近の若い人は「一つの場所にいろいろな要素がある」みたいなものが好きだと思っていて、例えばサブスクリプションを一つ入れれば音楽も聴けて、動画も見ることもできるとか、最近だとジムの「チョコザップ」には、ジムなのにカラオケやコインランドリーがあったり、カラオケに行くためにジムに入る人とか、そこからジムが好きになるとか、入口が広がると思うので、「ディーラーだと思って行ったわけではないのに車のことを知ってしまった興味が出てしまった」というような状況を作り出すことができたなら、僕なら車が欲しくなってしまうと思います。</p>
司会	<p>いつの間にか車が欲しくなっている。面白いですね。 ありがとうございます。 それでは、未来の車の話に移りたいと思いますが、「こんな車があったら良いのにな」という自分の空想でも結構です。 アンケートには「空飛ぶ車や水の中を走る車」があったら良いのにと書かれている方もいらっしゃいますが、そんなお話をしてくださる方いましたらお願いします。 では、Nさんお願いします。</p>



自分が思う夢の車。理想の車。

清泉大学Nさん	<p>空を飛ぶとか海の中を走るとかもそうですが、私が思うのは、「人にぶつかっても人が怪我をしない、自分も怪我をしない」という車です。 私も車を運転する側ですが、運転する側がどんなに気を付けていた</p>
---------	---

	<p>としても、飛び出しなど、どうしても防ぎようのない事故はあると思っていて、そういう防ぎようのない事故が起きたときに誰も怪我をしない車があったら良いなと思いました。</p> <p>ぶつかってしまったという事実は残りますが、怪我をしないというだけで運転する側も安心感を持って運転できるかなと思うので、ぶつかっても怪我をしないという車はすごく良いと思います。</p>
司会	<p>それは本当に良いですね。</p> <p>Eさんはどう思いますか。</p>
信州大学E君	<p>安全性もそうですが、ドライバーの眠気を察知して起こしてくれるような、「しっかりしてください」というような言葉で話しかけてくれる機能とか、心拍数や呼吸など、人の状態がわかる車があったら良いなと思います。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>Tさんはどうでしょうか。</p>
松本情報工科大T君	<p>自分は今のある車で結構満足している部分があるので、燃費は良くなつてほしいと思いますが、他には特にはないです。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>次にOさんお願いします。</p>
自動車大O君	<p>車に乗る以上、死角ができてしまうと思いますが、その死角の幅がもう少し狭まるような車があれば、事故なども少しは減るのではないかなと思うので、死角の少ない車があれば良いなと思います。</p>
司会	<p>Iさんはどうですか。</p>
県立大学Iさん	<p>先ほども少しお話ししましたが、私は駐車が苦手なので、駐車が全自動でできる車があるとありがたいなと思います。</p>
司会	<p>Cさんもお聞かせいただけますか。</p>
信州大学C君	<p>私は、車の運転をするのが好きなので、あまり苦にはなりません、「運転が嫌いだ」という人の中に、「行楽シーズンになると渋滞に巻き込まれて嫌だ」という意見をすごく耳にするなと思っていて、道路の問題もありますし、車をどうこうすれば良いという問題でもないのかもしれないですが、渋滞を少しでも回避して目的地まで辿り着けるようなルート設定ができたりすると、運転嫌いの人たちのストレスが大幅に軽減されるのではないかなと思うので、そんな車があれば良いなと思っています。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>Rさんはどうでしょうか。</p>
自動車大R君	<p>僕はこの整備学校に入るために、マニュアル免許を取ったのですが、「マニュアルはクラッチを繋ぐ時に音が変わる」と教習所の先生に聞いたのですが、結局それがわからず、エンジン回転をかなり上げて繋げるという運転をしていて、もう少しスムーズにクラッチが繋がるような工夫がされたら良いなと思っています。</p>
司会	<p>Pさんもお話いただけますか。</p>

自動車大P君	<p>私がこれからの車にあってほしいと思うのは「野性味」です。私が欲しい車は、音がいっぱい出て、ガソリン臭い車ですが、古い車にも良い部分はたくさんあると思います。</p> <p>これから化石燃料はどんどん苦しくなっていくかもしれませんが、「憧れる車」を作ってほしいと思います。</p> <p>昔、ある自動車メーカーの会長さんが、自分の好きな車を語っていたのですがそれが、「音がいっぱい出て、ガソリン臭い車」で、すごく自分と似ているなと思いました。</p> <p>私は、野性味があって心臓がバクバクする車に触れたいと思っているので、これからの時代には少し難しいかもしれませんが、望みとして持っていこうと思います。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>手を挙げてくださったOさんお願いします。</p>
自動車大O君	<p>先ほどもお話ししましたが、車に求めたいことがもう 1 つありまして、これは整備士としての目線なのですが、エンジンルーム内にもう少し広さがほしいなと思います。車によっては全く手の入らないところにエンジンベルトがあったりして、その対処をするだけでも時間がかかってしまうので、整備してお客様にすぐ乗ってほしいということを見ると、スムーズに整備ができる車が良いなと思います。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>Aさんはどうでしょうか。</p>
信州大学A君	<p>私としては、自分と一緒に考えてくれる車に乗れたら楽しいなと思っていて、それこそ最近「ChatGPT」などの AI 関連の技術が発達していく中で、当初の予定とは異なった状況が発生した場合に、AI 等の技術を駆使して、車も一緒になって行き先までの経路を考えてくれるような、「考える車」があったら、ドライブなども楽しくなるのではないかと考えています。</p>
司会	<p>まさに相棒のような感じで、一緒にいろいろ考えてくれながらドライブができる、とても面白いですね。</p> <p>Dさんはいかがですか。</p>
信州大学D君	<p>私が乗れたら楽しいと思うのは、「ユーザーフレンドリーな車」です。少しざっくりした言い方ですが、最近はカーシェアや誰かの車を借りて一時的に乗ることが多かったように感じていて、車ごとに、どこに何がついているのかということが初見だと少し分かりづらいなと感じました。</p> <p>運転にあまり慣れていなくて余裕がない人間からすると、操作にもテンパってしまって辛い部分があるので、どこに何があるのかなどがわかりやすいと嬉しいかなと思います。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>まだなかなか皆さんにお話しを聞けていないのですが、高山先生、いま出てきた中で、駐車を自動でする、渋滞や人の状態を感知してくれ</p>

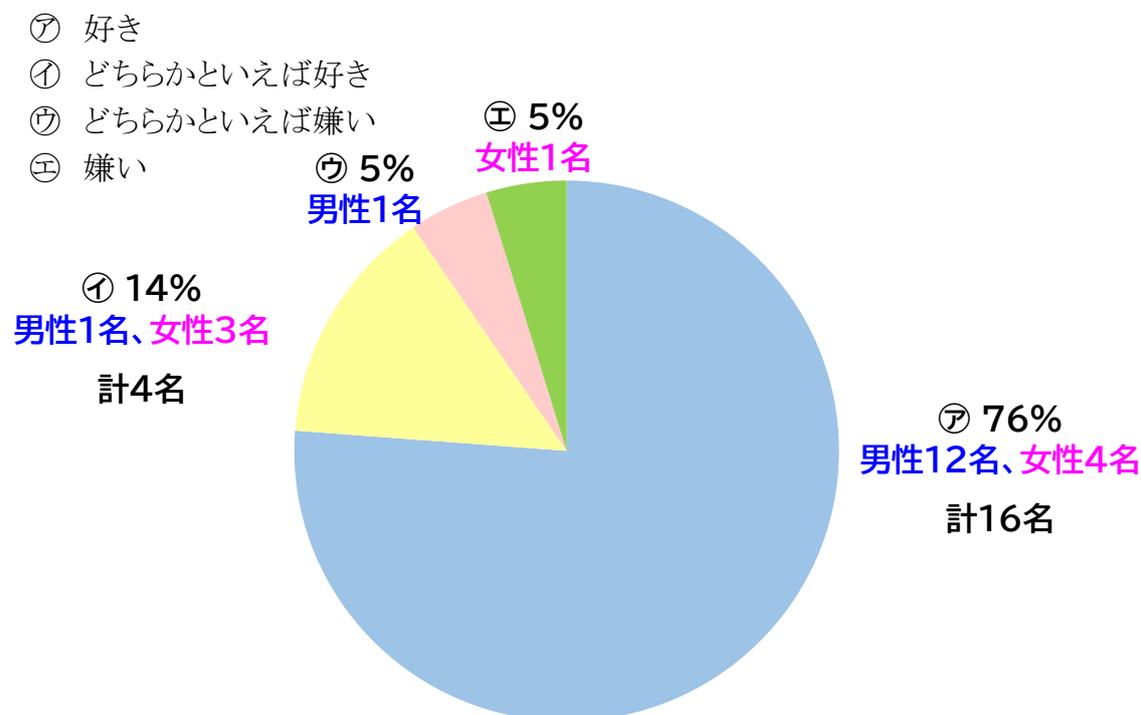
	<p>るという車が挙げられた一方で、ガソリン臭い車だったり、整備学校の学生さんからの現実的な話もありましたが、Nさんがおっしゃっていた「ぶつかっても怪我をしない車」というのは、今後でてくる可能性はあるのでしょうか。</p>
高山准教授	<p>車が硬いものである以上、これはなかなか難しい話ですね。ぶつかっても怪我をしないということは、クッションのように衝撃を吸収できないといけないわけですから、車体の周りにエアバッグなどが展開できれば、まただいぶ違ってくるのかなと思います。現状は材料的に考えても難しいのかなと。そうすると、「ぶつかる前に止まる車」というのが今は現実的かなと思います。</p> <p>でも、長い未来を見た時にはそういう車も出てくるかもしれませんね。実際、ボンネットなどにエアバッグを展開する車が歩行者のためにできてきて、販売されているので、材料で何か革命が起きればまた変わってくるのかなと思っています。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>そろそろお時間となりますが、「最後にこれだけは言っておきたい」という方いらっしゃいますか。</p> <p>せっかくの機会ですし、車に関するものであればどんなことでも構いません。</p> <p>では、Bさんお願いします。</p>
信州大学B君	<p>車の機能の中に、使う人が少ないんじゃないかと思うような機能が標準で搭載されていたりしますが、そういうものは使いたい人がオプション等でつけられるようにして、あまり使われていないような機能をなくしたベースグレードを1つ出していただいて、使う人によってカスタマイズできると、車を作る楽しさとかも感じられて良いのかなと思います。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>次にDさんお願いします。</p>
信州大学D君	<p>私のように、自動車にあまり興味がない、趣味として乗りたいと思っているわけではない人間が結構いるというのを考えていただきたいなと個人的に思っています。</p> <p>自動車会社の偉い人たちは、多かれ少なかれ車が好きな方々だと思いますが、生活必需品として乗らなければいけないとなった時のユーザーからの見方なんかも考えていただけると、1ユーザーとしてはありがたいです。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>Pさんお願いします。</p>
自動車大P君	<p>私は、これからの日本の車は水素で動いていくと信じています。日本には水素を作る技術であったり、運ぶ技術、貯蔵する技術というのは、世界で戦っていくポテンシャルがあります。</p> <p>今、電気自動車と比較して水素自動車の弱い部分というのは、水素</p>

	<p>ステーションが少ないことだと言われていますが、これは確かに現状を見るとかなりのデメリットとして痛手だと思いますので、もし水素自動車の事業に力を傾けていただけるのであれば、インフラ整備をお願いしたいと思っています。</p>
司会	<p>他にはよろしいですか。 Iさんお願いします。</p>
県立大学Iさん	<p>私も自動車を交通手段として使う側の人間ですが、親が乗っていた車に、とても愛着をもって私も乗っていたので、手放す際にすごく悲しくなった思い出があります。小さいころは特にですが、車は毎日使うものなので、それぞれの家庭によって車の中の匂いも違ったりして、それぞれ愛着を持ってみんな乗っていると思うので、これから車を持つ人が少なくなるかもしれませんが、車の良さというのを伝えていただけたらなと思います。</p>
司会	<p>ありがとうございます。 高山先生、今日、学生の皆さんの話を聞いてみていかがでしたでしょうか。</p>
高山准教授	<p>私もすごく勉強させていただいたなという気がします。 色々な意見が出ましたが、私の中での車は何かというと、「ナイトライダー」というアメリカのテレビドラマに出てきた「ナイト 2000」という車です。 AI を搭載して、凄まじいスピードが出る、でも絶対に人は轢かないしセンターもしっかり備えている、いわゆる未来の車です。そしてこれが子供の頃の車好きの原点だと私は思っています。 車は夢を与えるもの、一方で、現実も捉えなくてはいけないとても難しいものだと思いますが、皆さんの意見を聞いて、私も現実を見ている側として、計測する側として、自動運転だとか、あるいは眠気を検知するとか、対話して楽しく走れるとか、そんなことを実現するために研究をしなくてはいけないなど、車は奥が深いなど改めて実感しました。</p>
司会	<p>ありがとうございました。 もっと皆さんにお話しを伺いたいところではありますが、お時間となくなってしまいました。 今日は皆さんの貴重な意見を聞くことができました。本当にありがとうございました。 以上を持ちまして、ユーザーの意見を聴く懇談会を終了させていただきます。</p>

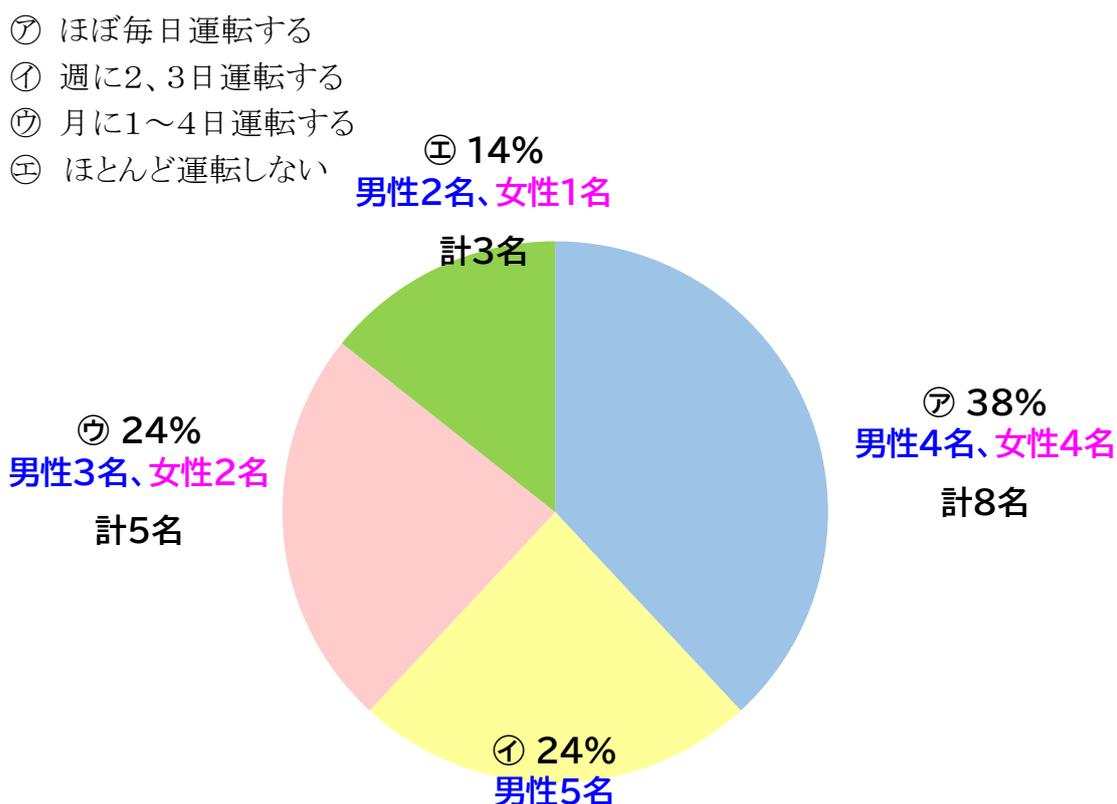
VI ユーザーアンケート

このアンケートは、懇談会前にユーザー（学生）21名の皆様に“事前アンケート”としてご回答いただいたものです。参考にしてください。

(1) あなたは車に乗ること（運転、同乗）が好きですか。

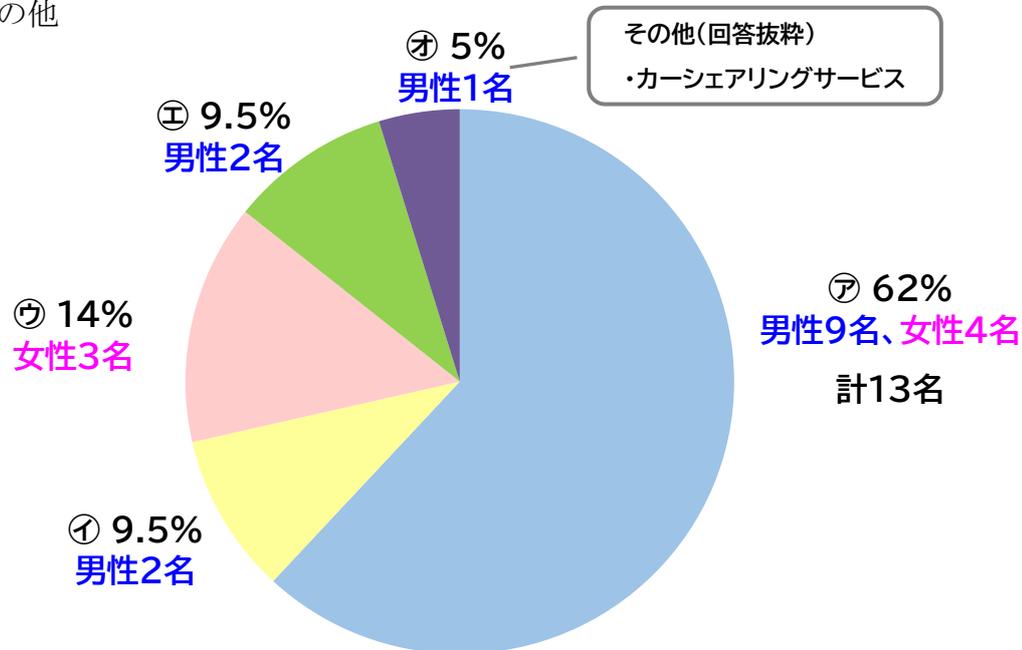


(2) あなたは車を運転しますか。



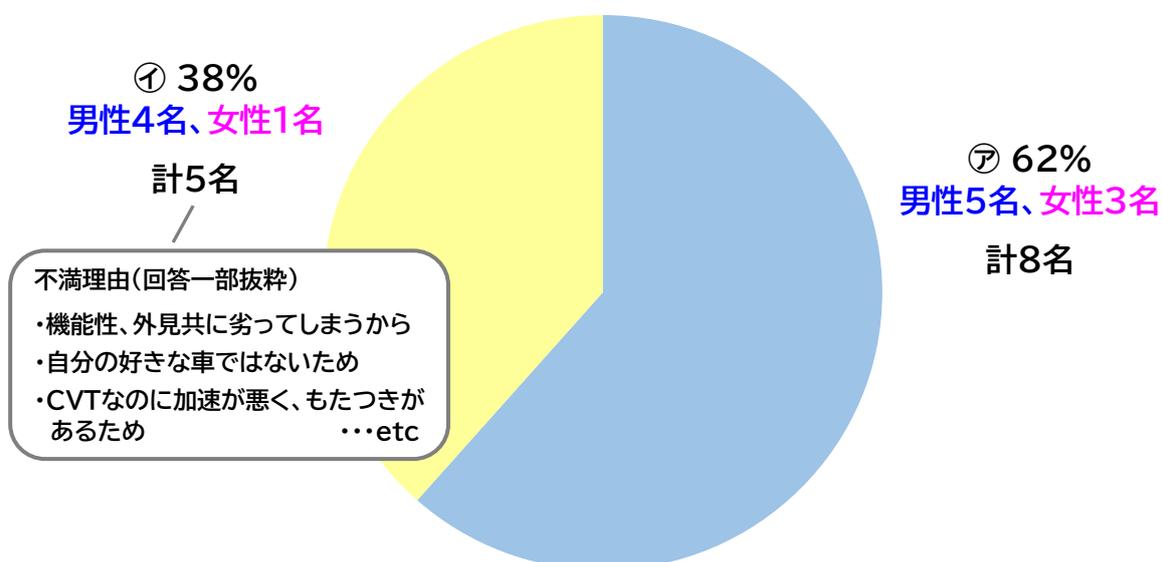
(3) あなたは自分で使用する車がありますか。

- ㊦ 自分専用の車がある
- ㊥ 家族等と共同で日常的に使える車がある
- ㊤ 必要なときに家族等から借りられる車がある
- ㊤ 普段運転できる車はない
- ㊤ その他



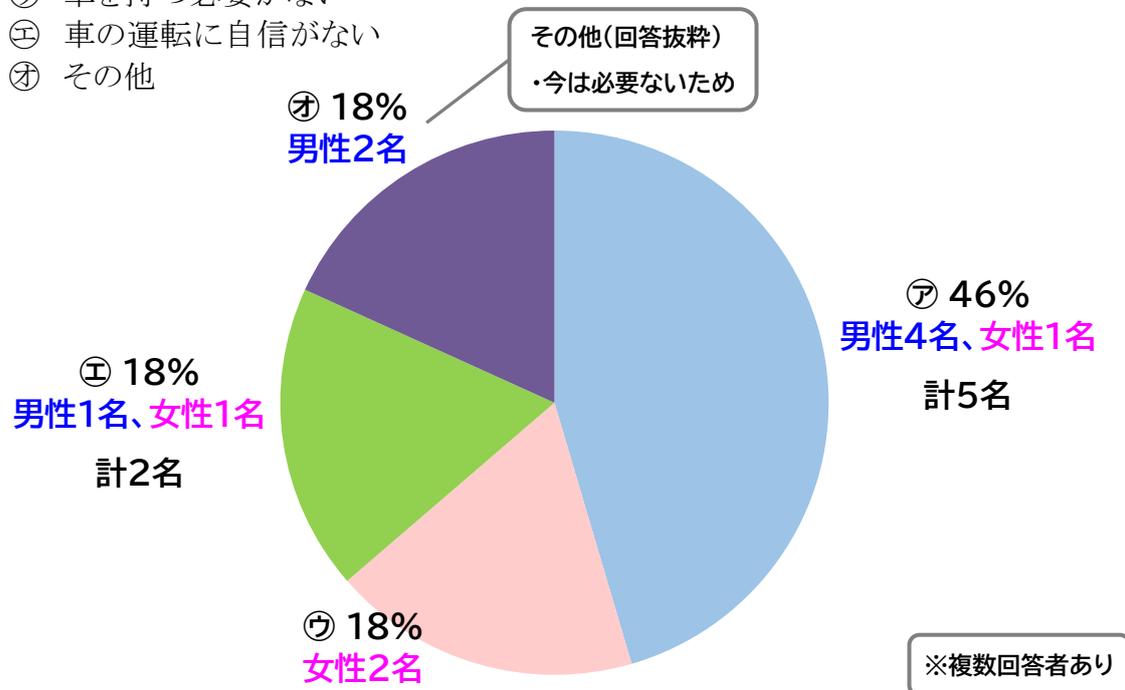
(4) Q3で自分専用の車があると回答した方にお聞きします。
その車について教えてください。

- ㊦ 今の車に満足している
- ㊥ 今の車に不満である
- ㊤ その他



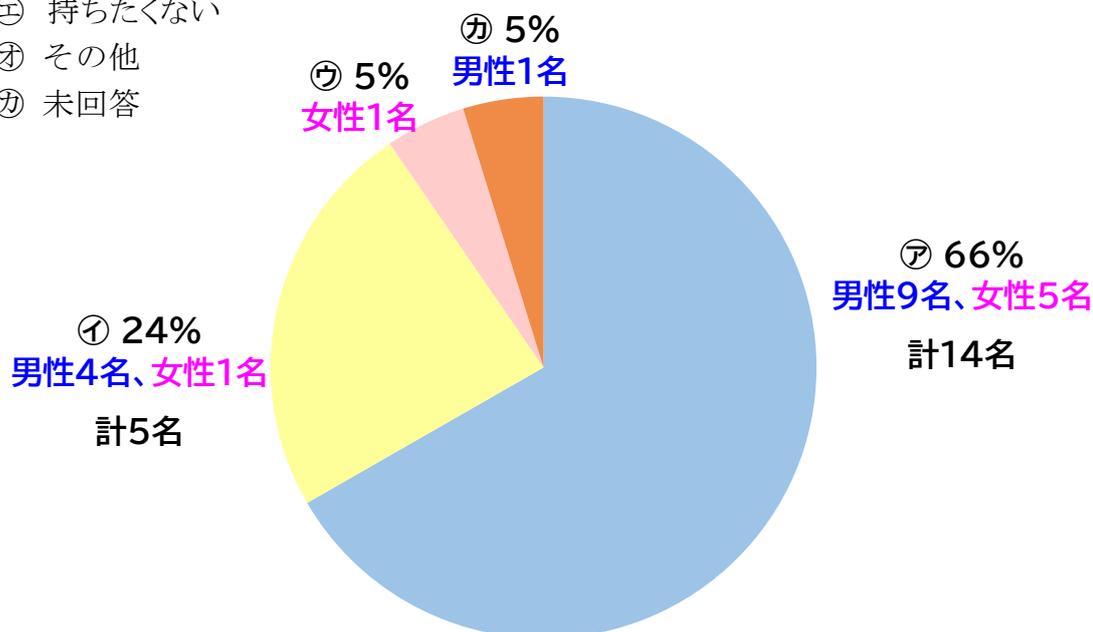
(5) Q3で㉞以外の回答をした方にお聞きします。
自分専用の車がない理由について教えてください。

- ㉞ 経済的理由
- ㉟ ほしい車がない
- ㊱ 車を持つ必要がない
- ㊲ 車の運転に自信がない
- ㊳ その他



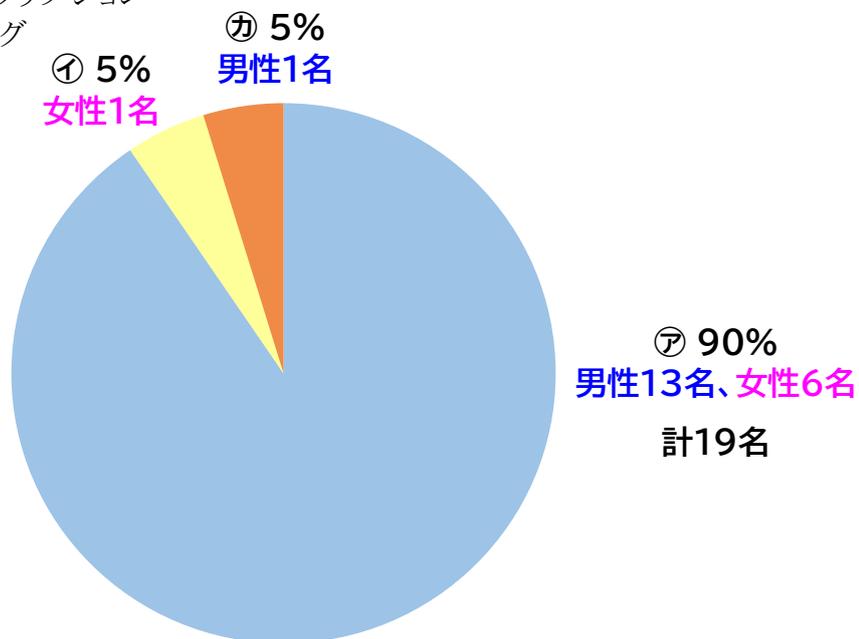
(6) 将来的には自分で自由に使える車を持ちたいと思いますか。

- ㉞ 是非持ちたい
- ㉟ 生活上必要があれば持ちたい
- ㊱ 生活上困らなければ持ちたくない
- ㊲ 持ちたくない
- ㊳ その他
- ㊴ 未回答



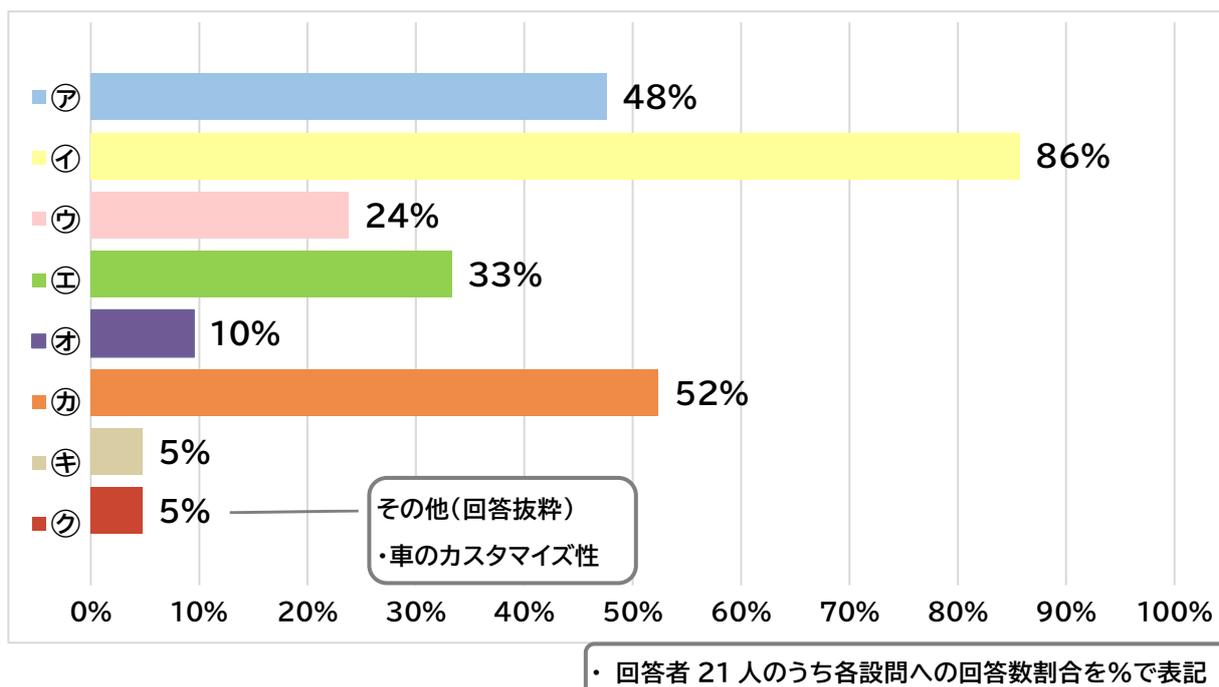
(7) 車を持つ場合、どのような所有形態を考えていますか。

- ア 新車・中古車を購入(所有)する(※残価設定以外のローンを含む)
- イ 残価設定ローン
- ウ リース、サブスクリプション
- エ カーシェアリング
- オ その他
- カ 未回答



(8) 自分の車を選ぶ際に、どのような点を重視しますか。(3つまで選択可)

- ア メーカー
- イ 車のタイプ・デザイン
- ウ 装備
- エ 安全性能
- オ 走行性能
- カ 燃費・維持費
- ク 保証・アフターサービス
- ク その他



Ⅶ 付則資料

出席者の詳細は以下のとおりです。

(1) ユーザー 21名

信州大学工学部・大学院5名、長野県立大学4名、
清泉女学院大学・短期大学5名、長野自動車大学校5名、
松本情報工科専門学校2名

(2) オブザーバー 1名

信州大学工学部 高山 潤也 准教授

(3) 協会役員 12名

理事長	宇都宮 進一	長野トヨタ自動車(株)	代表取締役会長兼社長
副理事長	塚田 哲郎	長野ヤナセ(株)	代表取締役社長
専務理事	遠藤 丈夫	(一社)長野県自動車販売店協会	専務理事
理事	関本 一男	長野三菱自動車販売(株)	代表取締役社長
理事	東澤 勝俊	(株)ホンダカーズ長野中央	代表取締役社長
理事	富田 信	長野日産自動車(株)	代表取締役社長
理事	出口 浩	長野ダイハツ販売(株)	代表取締役社長
理事	中畑 透	宇都宮商会(株)	代表取締役社長
理事	柴田 洋忠	南信スバル(株)	代表取締役社長
理事	鈴木 彰人	(株)スズキ自販長野	代表取締役社長
監事	降旗 憲治	日産プリンス松本販売(株)	代表取締役社長
監事	小澤 隆	小澤隆税理士事務所	税理士

(4) 会員 6名

小池 康弘	南信三菱自動車販売(株)	代表取締役社長
関根 伸哉	(株)ホンダモビリティ北関東	上席執行役員
西山 和範	(株)スズキ自販南信	代表取締役社長
太田 寿利	スバル信州(株)	総合営業副本部長
駒津 義之	長野日野自動車(株)	人事部長
縣 幹雄	(株)甲信マツダ	常務執行役員

(5) 司会進行 1名

SBC信越放送(株) 中澤 佳子 アナウンサー

(6) 記者 1名

(株)日刊自動車新聞社 秋山 淳 記者

(7) 協会事務局 5名

合計47名